



遊びや集団生活で社会性を養う

校長 小川 泰文

温かな日差しの中、大勢の子どもたちが前庭で鬼ごっこをしています。外でおもいっ
きり遊べる季節になりました。

本校の前庭は、様々な樹木の植え込みや庭石、なだらかな起伏と緑の芝生など、鬼ご
っこを行うには絶好の環境です。どの子ども楽しそうです。

鬼ごっこは、ルールが単純で、道具がいりません。人数制限もありません。運動量も豊
富で、子どもたちに人気の遊びです。

子どもたちは、遊びを通してルールを守ることや、マナーを学んでいきます。タッチさ
れたら素直に認める、相手が不快になるような強いタッチはしないなど、みんなが守るこ
とで遊びが成立し、楽しさが生まれます。まさに社会性の基礎を学んでいます。

時折、かけっこの苦手な子が、「自分ばかり鬼にされる」と訴えてくることがあります。
がんばって走ってもすぐ捕まるので、その子にとってはつらい場面です。

しかし、回を重ねていくと、特定の子ばかり鬼になるのは楽しいことではないと、みん
なが気付くようになっていきます。

社会性を育む場面は鬼ごっこに限りません。学校という集団生活では、あらゆる場面で
学びます。

集団生活であるがゆえに、自分の思い通りにならないことが多々あります。それは不快
であったりストレスであったりします。その不快を自分でコントロールし、周囲と折り合
いをつけていくことになります。

100%自分の思い通りにならない経験を積み重ねていくことが、大人になっていく
うえで大切です。

一方、子どもたちは家庭に帰ると先程の不快やストレスは軽減されます。時に、甘えや
わがママが出ることもあるのではないのでしょうか。これも、大切な場面です。学校の姿と
家庭の姿では異なって当然と思います。だからこそ、学校と家庭の協力体制は子どもの成
長に欠かせません。

風薫る5月。鬼ごっこをする子どもたちのバックで、青空とハナミズキの花が鮮やかで
す。これから学校は運動会に向けて取組が本格的になります。子どもたちは、一層体力が
つくとともに、仲間意識も強くなっていきます。

何事にも、一生懸命な子どもたちです。ともに応援していきましょう。

ようこそ！ 1年生17名を迎えました

4月8日（水）に入学式を行いました。6年生と手をつないで元気に入場。名前を呼んで紹介されると、しっかり返事をする事ができました。また、4月23日（木）には、児童会主催の1年生を迎える会を行いました。子どもたちの発想を生かし、手作り感のある、温かい雰囲気の会になりました。



1年生を迎える会



各種の検診が始まりました

4～5月は健康診断の時期です。健康第一という言葉がありますが、子どもたちの成長に欠かすことができません。内科、歯科、耳鼻科、聴力、視力、尿など、子どもたちの健康状況を確認し、必要に応じて受診等をお願いする予定です。



第1回 避難訓練を行いました

4月22日（水）に避難訓練を行いました。今回は、授業中の火災を想定して、集団での迅速な避難について大切なことを確認しました。また、防火扉が閉じた場合の通り方について、体験しながら確認しました。今後は休憩時間や地震など、想定を変えて実施していきます。

